

2022年度 三重大学人文学部

学校推薦型選抜（推薦B）（法律経済学科）

課題作文

【注意事項】

1. 解答時間は90分です。
2. 配付物は以下のとおりです。

問題用紙	3枚
解答用紙	3枚
下書用紙	3枚
3. 解答用紙には、それぞれ受験番号欄が付されています。
4. 解答用紙の指定された欄にそれぞれ必ず受験番号のみ記入してください。
氏名は記入しないでください。
5. 解答用紙（横書き）に記入する際に、行末に句読点がかかる場合は
次の行の最初の1マス目に記入してください。
6. 試験場で配付された問題用紙、下書用紙は持ち帰ってもかまいません。

課題作文 問題用紙（1枚目）

【問題】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係上, 公表しません。

(→ 2枚目に続く)

課題作文 問題用紙(2枚目)

著作権の関係上, 公表しません。

出典 伊藤亜聖著(2020)『デジタル化する新興国 先進国を超えるか、監視社会の到来か』中公新書
(試験問題作成のため、本文の一部改変を行った)(出題箇所:P174-P179)

(→3枚目に続く)

課題作文 問題用紙 (3枚目)

課題文中の引用文献

・ Human Rights Watch (2019) “China’s Algorithms of Repression: Reverse Engineering of Xinjiang Policy Mass Surveillance App.” Human Rights Watch Home Page

(<https://www.hrw.org/report/2019/05/01/chinas-algorithms-repression/reverse-engineering-xinjiang-police-mass-surveillance>).

・ 梶谷懐・高口康太 (2019) 『幸福な監視国家・中国』NHK 出版新書

問1

課題文では、デジタル社会が進むとともに監視社会の問題が深刻化する事例として中国が挙げられている。筆者は、中国の監視社会でどのような手段が用いられていると述べているか、具体例を交えながら300字以内で述べなさい。

問2

筆者は、デジタル技術の普及にともなう個人情報と利便性の交換という問題は、政治体制を問わず多くの国が直面している問題であると指摘している。この点について、中国の事例に見られる監視国家化のリスクの要因として筆者が述べているところを指摘した上で、日本ではどのような事例が考えられるかを述べなさい。そして、その日本での事例について、個人情報と利便性の交換という問題の視点からあなたの意見を論じなさい。

(400字程度)